

分野	荒廃山地の復旧等の治山			事業番号	4	事業名	山地治山(予防治山)			
市町村名	辰野町	ふりがな 箇所名	なしほら 梨洞			事業年度 (完了年度は見込み)	年度～ 年度			
事業概要	区分	事業内容				事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	全体	谷止工(鋼)1個、床固工(コンクリート)1個、床固工(鋼)3個 森林整備(倒木整理)2ha				60,000	国庫	その他	県債	一般財源
	H25年度									
箇所評価	区分	評価項目・指標等			評価			ランク	評点	
	(20)	必要性	保全対象人家	■ 10戸以上	□ 1～9戸	□ 0戸	B	5		
		保全対象公共施設	□ 2箇所以上	■ 1箇所	□ なし	3				
		保全対象に災害時要援護者関連施設があるか	□ 重要施設	□ 一般施設	■ なし	0				
		保全対象(保安林・林業用施設)	□ 「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上	□ 保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり	■ 保安林率30%未満	2				
		小計								10
	(15)	重要性	過去の災害履歴	■ 過去5年に1回以上	□ 災害履歴地	□ なし	A	5		
		交通遮断による地域経済などへの影響	□ 大	■ 中	□ 小	3				
		防災計画上の位置づけ	■ あり	□ なし		5				
	小計							13		
	(20)	効率性	費用対効果(B/C)	■ B/C2.0以上	□ B/C1.0以上2.0未満	□ B/C1.0未満	A	10		
		早期発現度	■ 3年未満	□ 3年以上5年未満	□ 5年以上	7				
		流域の総合調整	■ あり	□ なし		3				
		小計								20
	(25)	緊急性	最寄の保全対象までの距離	□ 50m未満	■ 50m以上200m未満	□ 200m以上	B	4		
		地形、地質の状況	□ 火山噴出物、花崗岩、第3紀層、破砕帯かつ地すべり地形	□ 火山噴出物、花崗岩、第3紀層、破砕帯	■ その他	1				
		平均溪床勾配(平均山腹勾配)	□ 10°以上(30°以上)	■ 5°～10°未満(20°～30°未満)	□ 5°未満(20°未満)	2				
		下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)	■ なし	□ あり(概ね満砂)	□ あり(ポケットあり)	5				
		危険地区危険度	□ Aランク	■ Bランク	□ Cランク □ なし	4				
		小計								16
(20)	計画	地域からの要望	■ 地域住民活動強い	□ 市町村要望有り	□ 特に要望ない	B	10			
	熟度	事業情報の共有	□ 関係者以外にも周知	■ 関係者中心に周知	□ 特に周知していない			3		
	住民参加の状況	□ 住民が直接参加	□ 住民市町村意見を反映	■ 住民意見反映していない	0					
	小計								13	
費用対効果(B/C)		5.45			評価の合計			B	72	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	天竜川右岸に位置した山麓の渓流内で、下流には農地を挟み住宅街が広がる。また直接保全対象ではないが、住宅街と水路を挟んで下方には辰野高等学校と辰野町宮病院がある。近年では平成18、平成23年に渓流内から大量の出水があり大きな被害はなかったものの、地域住民の不安は絶大なものである。なお同渓流において治山施設の設置はない。								
	地域からの要望経緯	平成18、平成23年に渓流内から大量の出水があり大きな被害はなかったが、渓流内に堆積する土砂を目の当たりにすることにより住民の不安は高まり、平成23年8月29日に地元区長並びに辰野町から早期の治山事業実施の要望があった。								
	事業説明等の経緯	保安林が未指定のため保安林及び治山事業の説明を実施している。9名の所有者の内8名までの保安林指定及び土地使用承諾は得られているが、治山ダム施工予定地の所有者のみ承諾が得られていない。								
	環境・景観への配慮項目	渓流を中心とした周囲からの浸透水が認められることもあって、鋼製による治山ダム等を主として設置する予定である。また林内には倒木が著しいため環境・景観にも配慮して、溪間整備(倒木処理)・植栽を計画している。								
	他事業・プロジェクトとの関連	森林から下方についての流末処理については、辰野町において流末処理を検討中。								
	特記事項	特になし。								
地域の合意形成	□ 全員賛成	■ 概ね賛成	□ 過半数賛成	□ 動向不明						
部意見	豪雨の度に、溪岸侵食が進んでおり、次期出水時に下方の保全対象に土砂流出、流木被害が発生するおそれがあり、対策工の必要性は感じられるが、地域との合意形成を進め、計画熟度を高めたうえで事業実施が必要である。				行政改革課意見	重要性は認められる。				